

ぴゅあ3館の講座情報満載！

ぴゅあ

山梨県立男女共同参画推進センターは、男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供しています。

県内にはぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士の3つの施設があります。愛称の「ぴゅあ」は、「男女共同参画社会をめざし、新鮮な感覚で、いきいきはつらつと行動する拠点」という意味です。



カジダンイクメン写真展より、「おにいちゃんにおんぶ」都留市・坂本さん

§ Contents

* 地域活動レポート リトミッククラブぽっけ * 事業インフォメーション * ぴゅあ講座レポート (ぴゅあ富士)

山梨県立男女共同参画推進センター Gender Equality Promotion Center

●ぴゅあ総合

〒400-0862

甲府市朝気 1-2-2

Tel. 055-235-4171 Fax. 055-235-1077

●ぴゅあ峡南

〒409-2305

南巨摩郡南部町内船 9353-2

Tel. 0556-64-4777 Fax. 0556-64-4700

●ぴゅあ富士

〒402-0052

都留市中央 3-9-3

Tel. 0554-45-1666 Fax. 0554-45-1663

●山梨県女性の応援サイトでも講座情報を発信しています。→ <http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/index.php>

ぴゅあ総合 HP → <http://www.yamanashi-bunka.or.jp/pwm/topicsogo.html>

ぴゅあ峡南 HP → <http://www.yamanashi-bunka.or.jp/pwm/topicskyonan.html>

ぴゅあ富士 HP → <http://www.yamanashi-bunka.or.jp/pwm/topicsfuji.html>

子どもたちって想像以上にいろんな化学反応を起こすんです。 音楽の力ってすごいと思いますね。

リトミッククラブぽっけ（佐野貴子さん・長洞まゆさん）

「リトミッククラブぽっけ」は、南部町を中心に峡南地域でリトミック教室の講師として活動しているグループです。リトミックとは、子どもたちが歌やリズム体操など、音楽を使った様々なプログラムを体験することにより、想像力・集中力・思考力、そして美しいものに素直に感動できる心を育み、子どもたちの秘めた可能性を引き出す教育手法のことを言いますが、このグループを主宰する佐野貴子さん（伴奏担当）と長洞まゆさん（歌と進行担当）は、同じ音楽大学出身の同級生で、それぞれ音楽教室の講師や演奏活動をする傍ら、自分たちの音楽を活かした活動として、このリトミッククラブを立ち上げました。そこで、峡南地域で子育て世代が多く集まる場を提供し、子育て支援の一環としてリトミック教室を開催しているお二人から、その活動についてお話を伺いました。

— リトミック教室を始めようと思ったきっかけと、今までの活動歴をお聞かせください。

長洞 10年ほど前、知り合いがリトミック教室をやっていることを知って、私もやってみたくて思いました。私の理想としては、子どもたちに自由を与えずに指導書どおりの授業を押し付けたり、すぐに成果を求めたりするのではなく、音楽を通じて、子どもたちが心から楽しみながら学んでもらえる教え方が良かったのです。しかし、周りにはそういう教室がありませんでした。だったら、自分たちでそういった場が提供できたら喜んでもらえると思って佐野さんに話したところ、佐野さんもちょうどやりたかったということでした。当時、私たちにはリトミックのノウハウはありませんでしたが、それでもやってみようということになりました。まずはやってみたくてという想いの方が強かったです。

佐野 以前は、地域に小さい子どもを連れて集まる場所がなかった。自分が子どもを持ってからは更にそう実感しました。

ようやく図書館や「ぴゅあ峡南」で、親子向けの講座を開いてくれるようになってきて、連れて行けるようになったんですけど、ちょっと上の世代の親子には本当にそういう場がなかった。それを見ていて、出ていくところが無いってかわいそうだと思ったのがきっかけでした。集まるには目的があった方が良いのでリトミックを勉強してみようかと……。

長洞 今は、町や「ぴゅあ峡南」から依頼されて活動していますが、最初の3年ぐらいは、自分たちで場所を借りて、チラシを配って参加者を集めていたんです。

週1回の開催でしたが、たくさんの方たちが来ていただくようになりました。そんな頃、南部町の図書館から依頼をいただき、以来7年間ほどになりますが、定期的に図書館で活動しています。他にも町の依頼で保育園にも行って

いますし、ぴゅあ峡南の事業では、平成19年度から毎年、峡南地域の各町を回っています。ですから、お陰様で現在は、自分たちで場所を借りて参加者を集めなくても、十分活動できるほどになってきています。

— オリジナルのプログラムということですが、どのようにして創っていったのですか？

佐野 最初の頃は、ひとつの授業をするのに何日もかけて話し合いを重ねました。楽譜も無いものもあり、たった数分の内容でも、それについて何日も何日も検討していましたね。

長洞 ひたすらプログラムづくりでした。いろんなことがヒントになりました。

リトミックは、いわゆる疑似体験などを通して、情景を想像したり自分の感情を表現しながら、表現力や思考力などを高めていくものなので、日常生活のあらゆる出来事を参考にしました。専門書なども読んでやってみましたが、なかなかその通りにはできませんでしたし、自分たちが考えたプログラムでもうまくいかない時もありました。もう試行錯誤の連続でした。

実践と反省を繰り返して、その積み重ねの中から、少しずつ自分たちのベストな組み合わせのプログラムを創り上げていったんです。私たち自身も子育てを経験していたので、その経験も大きかったと思います。いかに子どもを惹きつけるかが最も重要で、一番苦勞をしましたね。資料もたくさん集めました。何がヒントになるかもわからない状態でしたから。使う曲や道具も自分たちでいろいろと工夫しました。

子どもたちが集中してくれない時は、私たちに責任があると思い、どうしたら集中が途切れず楽しくできるかを考えました。

佐野 子どもは、こちらの想像を超えた様々な反応を見せてくれるので、それがプログラムづくりの参考にもなりました。勉強になりましたね。



佐野貴子さん（左）と長洞まゆさん（右）

— リトミックのプログラムを進めるうえで気を付けていることなどを教えてください。

長洞 子どもたちは、いろんな音に瞬時に反応して、何をするのか認識しながら自由に動いていくわけですが、小さい子ができなかつたりした時は、ちょっと大きい子が手伝ってあげたりとか、言葉で言わなくても“グループの中で自分がどう動いたら良いかを考える”ということ、子どもたちはちゃんと感じ取って行動するんです。

そうしたことは、自然と生活にも結び付いていくことですし、それを音楽を通して自然に学んでもらおうというのが私たちの狙いです。教育として押し付けるようなことはしないのが理想だと思います。



リトミック教室のようす

佐野 慣れてくると、子どもたちは、音が鳴るとすぐに行動するようになります。ですから、最初から周りの大人が手助けする必要はないんです。

また、こうして長洞さんと私が二人で組んで活動しているのは、一人だと喋るか弾くかどっちかしかできないからです。私たちのプログラムは、始まってから終わるまでずっと音楽を演奏しています。

途中で絵本を読み聞かせたりする時もバックで音楽は鳴っていて、リトミックの時間中に音楽を止めることはありません。ですから、このプログラムを一人で進行するのは、かなり難しいことだと思ったからです。

長洞 そうなんです。絵本の時間では、子どもたちが座って静かに集中できるように、みんなで、絵本を聞くための準備の歌を歌ってもらってから、リラックスできる音楽を演奏します。それは、自然と気持ちが切り替えられるようにするためです。言葉だけでは、なかなかすぐには切り替えできません。

プログラムの進行も、ある程度のペースの流れはありませんけど、その時その時の雰囲気を感じ取って、やりながらでもすぐに佐野さんに合図をして曲や進行を変えてもらいます。

佐野 子どもたちの反応は毎回違いますからね。だから多分、それは長洞さんでないとできないと思います。

長洞 その日、その時のメンバーにより、どのような雰囲気になるのかは本当にわからない。子どもたちって想像以上にいろんな化学反応を起こすんです。ですから、こちらもそれに対応して変化させながら楽しくやらせてもらっています。

逆に、こちらが心から楽しいと思ってやっていないと、子どもたちは、すぐにそれを感じ取ってしまいますから。

— リトミックのメリットや活動を通してのやりがいは、どんなことでしょうか？

長洞 最初は初めて会う人同士でぎこちなくても、1時間足らずの短時間の間に必ず打ち解けてくれます。これは、音楽の力を借りないとなかなか難しいと思います。

親子で集まる場が少し苦手なお母さんでも、子どもが楽しそうにしていると気持ちが楽になったり、他の人とも打ち解けられたりする例をたくさん見てきましたので、親にとってもメリットがたくさんあると思いますね。

佐野 以前、2年間もみんなの輪の中に入ってこないお子さんがいたんですけど、ある日突然参加してきたと思ったら、全部のプログラムができたんです。いつも全部聞いていたんですね。びっくりしました。

長洞 音楽を介したことが心を開くきっかけになったんだと思うと、とっても嬉しいことですね。続けてきて良かったと思った瞬間でした。

他にも、高齢者の方々と音楽を使ったコミュニケーションとして、リトミックを取り入れたことがあるんですが、ある施設に伺った時に、それまで誰も一度も声を聞いたことがない利用者さんが、私たちと一緒に歌ってくれたことがありました。施設の方も初めて聞く歌声に涙を流していらっしゃいましたが、私たちも大変感動しました。改めて音楽の力を実感しました。そういった面では、大人も子どもも同じなんですね。

それから最近は、お父さんが参加してくれることもよくあります。おばあちゃんもあります。今の若いお父さん方は、周りがお母さん方ばかりでも、すごく積極的に体を動かしてくれる方が多いです。きっと普段からお子さんと密に接していらっしゃるからだと思いますね。リトミックがお父さんたちにも少しずつ浸透していると感じています。

— 最後にこれからの展望などをお聞かせ下さい。

長洞 もっと活動の輪を大きくしたいとは常に思っています。それは、リトミックに限らず自分の演奏活動についてもそうですが、今よりも上を目指したいと思っています。

佐野 まだまだリトミックがどういうものか知らない方も多いため、どんどん活動を広げていきたいですね。やってほしいという要望は、いろいろな方からいただくので、できるだけ要望に応えていきたいと思っています。

「リトミッククラブぽっけ」による、ぴゅあ峡南主催事業「わくわくリトミックランド」は、昨年11月から12月に峡南地域4か所で開催され、多数の方々にご参加いただきました。また、平成27年3月21日(土)には、ぴゅあ峡南にて開催予定の「スプリングコンサート」に佐野貴子さんが地元合唱団とともに出演されます。こちらもみなさんのご来場をお待ちしています。

〈お問い合わせは、ぴゅあ峡南まで〉

自主企画事業「ハンドメイド・マーケット 2015」

■日時：2月22日（日）・3月22日（日）10：00～14：00 ■会場：1階展示スペース
昨年スタートし好評を博した「ハンドメイド・マーケット」を今年も開催します。心をこめて作られたクラフト作品がいっぱいです。3月22日はフリーマーケットやロビーコンサートも同時開催します！

憲法と人権の視点で学ぶ 現代社会の問題VI

■講師：山内幸雄さん

（山梨学院大学法学部政治行政学科教授）

1.「衆議院の解散 いつでもできるの？」

■2月7日（土）13：30～15：30 ■会議室

私たち国民が日本国憲法を知ることとはとても大切です。憲法の条文を読みながら、衆議院の解散について正しく学習します。

2.「若者を襲うネット犯罪～恋人たちのプライバシー侵害～」

■2月21日（土）13：30～15：30 ■会議室

アカデミー賞女優のヌード写真を配信するなどネット犯罪が横行する現代、恋人たち自身が恋愛という甘い香りの中で起こしてしまう人権侵害が頻繁に起こっています。

3.「なお続く“女性の人権”への攻撃」

■3月8日（日）13：30～15：30 ■会議室

今なお続く男女差別、政治家の品格のなさを示すセクハラやじ、明らかな違法行為なのに頻発する出産退職、「女性の活躍」という美称に名を借りた非正規雇用の増大などを考えます。

4.「ヘイトスピーチ（憎悪表現）は許されない」

■3月29日（日）13：30～15：30 ■会議室

従軍慰安婦問題を話題に人種間の憎悪をあおる「ヘイトスピーチ」は日本国憲法上では「表現の自由」として守られるべきものだろうか。

■対象：どなたでも20名 ■参加無料（以上各回とも）

身近な新聞記事を題材に憲法と人権の視点から時事問題を捉え、現代社会を取り巻く諸問題について考えます。

リプロダクティブヘルス・ライツ・セミナー

「帝王切開を考える」

■講師：細田恭子さん（誕生学アドバイザー）

■日時：2月11日（水・祝）13：30～15：30

■会場：中研修室 ■対象：どなたでも40名

■参加費：無料

・やむなく帝王切開をしたのに、心ない言葉や行動に思いをされたあなたへ

・これから妊娠・出産をむかえる学生のみなさんにも男性、おじいちゃん、おばあちゃん、すべての方に知っていただきたいことがあります。

共催：女性グループタモリ倶楽部

一緒に考えよう！

「サイエンスガールの未来を語ろう！」

■日時：2月14日（土）13：30～15：30

■会場：中研修室

■対象：理系志望の女子中高生40名（保護者同伴可）

■参加費：無料

【基調講演】

「ポジティブに理系選択～広がる進路は無量大!？」

■講師：山下さやかさん

（山梨大学生命環境学部 地域食物科学科 助教）

理系に進んだその先にある、多くの選択肢を教えます！

【分野別プレゼンテーション】

山梨大学に通う4人の現役女子大生がいろいろな理系分野の楽しさを全力でご紹介します！

☆生命・生物系 ☆土木・環境系

☆機械・メカトロニクス系 ☆電気・電子系

【グループ座談会】

グループに分かれ各分野の大学生と気軽におしゃべり！

理系のことをよく知らないまま将来の選択肢から外すのは絶対にもったいない！大学の先生や現役大学生と気軽におしゃべりしながら自分の将来像をイメージしませんか？

リプロダクティブ・ヘルス・ライツ

「お産カフェ@ぴゅあ」

■講師：伏見正江さん（山梨県立大学看護学部教授）

山梨県立ヘルスプロモーションクラブ学生の皆さん

■日時：3月8日（日・国際女性の日）14:00～16:00

■会場：小研修室1

■対象：これから出産する方、将来出産を希望している方、出産を経験された方、出産に関してつらい思いをした方、パートナー等、25名

■参加無料、お茶サービスあり

妊娠出産に関すること、家族や職場、社会の問題女性の生涯にわたる健康について、みんなまとめて語り合いませんか？



受講申込みは、

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077

E-Mail sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp まで。

掲載講座は託児サービスあり（無料・3日前までに予約）。

詳しくはぴゅあ総合までお問合せください！